



3-3 電子ジャーナルを利用しよう

電子ジャーナルアクセスサービス

<http://sfx9.usaco.co.jp/nagoya/az/>

電子ジャーナルは、パソコン上で利用できる雑誌です。名古屋大学で利用できる電子ジャーナルを調べるには、**電子ジャーナルアクセスサービス**を使います。電子ジャーナルアクセスサービスは、

- 名古屋大学で契約しているタイトル、一般公開されているタイトルの一部をまとめて調べられます。
- 電子ジャーナルの本文にリンクしています(契約タイトルの本文利用は学内からのアクセスに限ります)。
- 雑誌単位で探すサービスです。論文タイトルやキーワードからは探せません。
- 探せるのは電子ジャーナルのみです。冊子版の雑誌を探す場合は名古屋大学蔵書検索(OPAC)を使ってください([ガイドシート 2-2「名古屋大学所蔵の雑誌を探す」](#)参照)。

<電子ジャーナル本文へのアクセス方法・使い方>

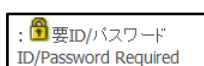
- (1) 附属図書館 web サイト <http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/> を開く
- (2) 画面左側のクイックリンク[図書・雑誌を探す]または[論文・記事を探す]から、「電子ジャーナル」を選択する
- (3) 電子ジャーナルアクセスサービスが開くので、タブを選択し、検索する。

「雑誌名から検索」タブ(①)で検索する場合は、電子ジャーナル名に含まれるキーワードから探す方法と、電子ジャーナル名の頭文字を選んで一覧から探す方法とがあります。

ほか、電子ジャーナルの②巻・号・ページ・DOI、③分野、④提供元や ISSN などからも探せます。

- (4) 条件に合致する電子ジャーナルの一覧が表示される

- ① 電子ジャーナル名
- ② 提供元: 出版社名やプラットフォームへのリンクです。複数の提供元がある場合は複数表示されます。
- ③ 利用可能期間: 名古屋大学で利用できる年・巻号が提供元ごとに表示されます。発行されているすべての巻号が利用できるとは限りません。必ず確認してください。
例) 「1995年～最近1ヶ月利用不可」→「1995年～最新号から1ヶ月前の号まで利用できる」
「2002年～」→「2002年に発行された号から最新号まで利用できる」
- ④ 備考や注記など: 電子ジャーナルごと、または提供元ごとに表示されます。



※左図の内容が表示される場合、利用にはID・パスワードが必要です。🔒 をクリックすると、ID・パスワードが見られます。

[A. 読みたい論文が決まっているとき]



- (1) 電子ジャーナル名 (前ページ(4)①) をクリックする
- (2) NULink 画面が開くので、ボックスに該当論文の発行年・巻号・開始ページを入力し 60 をクリックする
※読みたい論文の巻号が利用できる提供元かどうか確認してから入力してください。

[B. 電子ジャーナル全体をざっと眺めたいとき]

- (1) 提供元名 (前ページ(4)②) をクリックする
※読みたい年代の巻号が利用できる提供元かどうか確認してからクリックしてください。
- (2) 該当電子ジャーナルのサイトが開くので、巻号選択やキーワード検索などで論文を確認する

<名古屋大学蔵書検索(OPAC)で電子ジャーナルを探す>

OPAC で雑誌を検索した際、[書誌詳細]画面で[本文一覧]が表示されれば、その雑誌は冊子版と電子ジャーナルを両方利用できます。※OPAC では、電子版のみの雑誌は探せません。



<学外から電子ジャーナルを利用する>

専用の web ページを使うと、学外からでも、学内と同じ条件で電子ジャーナルを利用できます。

※利用上の注意※

- 名古屋大学に現在所属している方が対象です(卒業生・退職者不可)。
- 利用には名古屋大学 ID・パスワードが必要です。
- 提供元の許諾状況により、学外からは本文を利用できない電子ジャーナルもあります。

- (1) 図書館 web サイト>「学外からの電子リソース利用・スタートページ」(<http://www.nul.nagoya-u.ac.jp/db/DBannai/ezproxy/index.html>)で、右側にある[各サービスへのアクセス]フレームから「電子ジャーナルアクセスサービス」を選択
- (2) 認証画面で名古屋大学 ID・パスワードを入力しログインすると、電子ジャーナルアクセスサービス画面が開く
※学内と同じように利用できますが、**すべての契約電子ジャーナル本文が見られるわけではありません!**
- (3) 利用が終わったら「学外からの電子リソース利用・スタートページ」に戻り、画面上部の **ログアウト** をクリック

<電子ジャーナルの公正利用>

名古屋大学で契約している電子ジャーナルは、提供元と名古屋大学との間で利用許諾契約が交わされています。**契約に違反する利用がなされた場合、一個人の違反であっても、大学全体で電子ジャーナルが利用できなくなります。**利用の際は以下の点に注意してください。一般公開されている電子ジャーナルであっても同様です。

- **データの大量ダウンロードは禁止されています。**プログラムによる自動データ収集だけでなく、大量の論文を手動で連続的にダウンロードする行為も不正利用とみなされます。
- 個人がダウンロードしたデータを第三者に配布・販売することは禁止されています。
- ダウンロードしたデータは、**個人の調査・研究のために利用してください。**
※ダウンロードとは、オンライン上のファイルを「保存すること」ではなく、「開くこと」を指します。